

聖ヨハネ学園

# 後援会 だより

→50←



2024年度新規採用者の皆さんと

発行：聖ヨハネ学園後援会  
〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1  
TEL&FAX 072-687-0548

聖ヨハネ子どもセンター  
ぽぽらすは、聖ヨハネ子どもセンターの中で4つ目の療育支援の事業所（児童発達支援、放課後等デイサービス）として2020年4月に誕生し、今年で5年目を迎えます。主に1歳児から小学校低学年の児童を対象に、各種専門職によりグループ及び個別の療育を行っています。又、ぽぽらすの事業所内には障がい児相談支援も併設として事業を行っており、子どもから大人までたくさんの方にご利用いただいています。

この度、ぽぽらすでは2024年4月より事業所の拡張を行い、プレイルームと相談室が増えることとなりました。開設当初より少しずつ療育のご希望が増えてきて、お申込みいただけてもすぐにご案内ができ

## ぽぽらすが広くなりました！

聖ヨハネ子どもセンター  
施設長 上田 有美

ない状況となりつつあったため、より多くの方に通室いただけるようにという願いの元、拡張を行う運びとなりました。

新しいプレイルームは、窓が大きく開放的で、広さ的に $20\text{ m}^2$ と療育の空間としては程よい広さとなっています。落ち着いた雰囲気で、子どもたちの豊かな活動の場として利用いただけるものと思っています。又、相談室も増えましたので、ご家族の相談から発達検査、言語指導と幅広いニーズに



早く対応できるようになりました。実際、4月より療育や面接を行つており、元々あつたプレイルームに加え、同時に複数人のご利用が可能となつたこともあって、ぽぽらすでは子どもたちの元気な笑い声がにぎやかに響き合っています。お部屋が増えたことにより、今後は保護者向けのお話会や、職員の研修・研究会などの開催を展開していくたいと考えています。ご希望の方に安心して通つていただけるよう、そして多くの方に集う場所として活用いただけるよう、今後も取り組んで参ります。

後援会の皆様にはいつも子どもたちのためにご支援、ご指導いただき、感謝申し上げます。今後とも温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 今年度の進路について

今年は4名の子ども達が

学園を卒立つていきました。

卒業後の進路ですが、T・R君は「大阪大谷大学教育学部」、H・K君は「大阪行岡医療大学理学療法学科」、H・K君は「大阪医療福祉製菓専門学校」へ進学し、N・R君は、障がい者就労支援事業で働く予定です。

授業料等は土曜会奨学金を始め、給付の奨学金が増えたので貸付の奨学金を返さなくても大丈夫ですが、生活費に関する話題ではアルバイトに頼らざるを得ない厳しい現状です。これからも子ども達の夢を実現するためにも温かいご支援を宜しくお願いいたします。



卒業お祝い会

信徒、計15名が礼拝に出席致しました。

関係者からの聞き取りや

書物を通して、逝去者お一人の事を偲びつつ述べられた中、リーラ・ブル宣教師のお働きや人となりを次のように話されました。「滞日36年間、立派な美しい筆跡の日記を残されていた事」「35年の長い間

か「彼女が部屋を暖めて迎えてくれるホームに帰ることは幸せ」など。教育・伝道・慈善の全てを神さまに任せしての生涯を終えられた事などをお話し下さいました。(後援会会长 井上 美津)

## ミス・ブル宣教師の100回目の墓前礼拝

大阪教区関係教役者逝去記念聖餐式

## 逝去者記念礼拝に出席して

大阪教区関係教役者逝去記念聖餐式

大阪教区では、毎月第二

水曜日に主教座聖堂(川口基督教会)に於いて、大阪教区関係教役者逝去記念聖餐式が守られています。

2024年3月20日は、

大阪聖ヨハネ教会創設1年後に聖ヨハネ学園創設者のリーラ・ブル宣教師逝

去100周年でした。3月13日(水)記念礼拝当日は22名の逝去者を覚えて、大倉

内、ブル宣教師を偲んで聖ヨハネ学園からは理事長

・施設長・事務局長・職員

・学園関係者、ヨハネ教会

礼拝をおこないました。

今年はリーラ・ブル宣教師が1924年3月20日に天に召されて、100回目の記念となる墓前礼拝となりますので、チャプレン柳司祭の司式のもと、法人や施設の関係者、聖ヨハネ教会や高槻聖マリヤ教会の方々が多数お集まりいたしました。



墓前礼拝



